

## 永福寺 杉並区永福1-25-2

寺院万歳山永福寺は曹洞宗の寺です。本尊は十一面観音像で、脇侍の不動・毘沙門両像とともに、鎌倉期の仏師快慶の手になるものと伝えられています。寺伝によれば、開創は大永2年（1522年）で開山は秀天慶実と伝え、村名もこの寺名によっています。永福寺の名は永禄2年（1559年）に北条氏康が作成した「小田原衆所領役帳」にも見え、開創は寺伝の伝える頃に近いものと思われます。小田原落城後、北条氏の家臣であった安藤兵部丞が、当寺の住職をたよってこの地に帰農し、永福寺の檀家となり、村の開発につとめたといわれます。（杉並区教育委員会説明版）



教育委員会説明版



石柱



山門



本堂



多くの地藏尊





三層塔



鐘樓